

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き ■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大宝運輸株式会社 東郷町基地	階数	地上2階
建設地	愛知県東郷町大字諸輪字福田2番1	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火指定なし	平均居住人員	50人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2019年8月29日
敷地面積	11,849 m ²	作成者	長橋祐太
建築面積	6,011 m ²	確認日	2019年8月29日
延床面積	10,872 m ²	確認者	長橋祐太

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
BEE = 1.1				Q のスコア = 2.9	
2-4 中項目の評価(バーチャート)				LR のスコア = 3.2	
Q 環境品質				Q3 室外環境 (敷地内) のスコア = 2.4	
Q1 室内環境		Q2 サービス性能			
Q1のスコア = 0.0		Q2のスコア = 3.7			
LR 環境負荷低減性				LR3 敷地外環境 のスコア = 3.1	
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル			
LR1のスコア = 3.2		LR2のスコア = 3.3			
3 重点項目					
①地球温暖化への配慮		③敷地内の緑化		2.0 外構緑化指標(外構緑化面積/外構面積) 20.3 %	
3.4				建物緑化指標(建物緑化面積/建築面積) 0.0 %	
②資源の有効活用		④地域材の活用		なし <建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> なし	
3.4					

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
②資源の有効活用
③敷地内の緑化
④地域材の活用

外構緑化指標 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた敷地面積}} \times 100$

建物緑化指標 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート		実施設計段階		独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄						建物全体・共用部		建物全体・共用部		宿泊部		居住・宿泊部		建物全体				
配慮項目											評価点		評価点		重み係数		評価点		評価点		重み係数		
Q 建築物の環境品質		Q1 室内環境																			2.9		
1 音環境	1.1 室内騒音レベル																						
	1.2 遮音																						
	1 開口部遮音性能																						
	2 界壁遮音性能																						
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)																						
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)																						
	1.3 吸音																						
2 溫熱環境	2.1 室温制御																						
	1 室温																						
	2 外皮性能																						
	3 ゾーン別制御性																						
	2.2 湿度制御																						
	2.3 空調方式																						
3 光・視環境	3.1 曜光利用																						
	1 曜光率																						
	2 方位別開口																						
	3 曜光利用設備																						
	3.2 グレア対策																						
	1 曜光制御																						
	3.3 照度																						
	3.4 照明制御																						
4 空気質環境	4.1 発生源対策																						
	1 化学汚染物質																						
	4.2 換気																						
	1 換気量																						
	2 自然換気性能																						
	3 取り入れ外気への配慮																						
Q2 サービス性能																		0.43	-	-	3.7		
1 機能性	1.1 機能性・使いやすさ																						
	1 広さ・収納性																						
	2 高度情報通信設備対応																						
	3 バリアフリー計画																						
	1.2 心理性・快適性																						
	1 広さ感・景観 (天井高)																						
	2 リフレッシュスペース																						
	3 内装計画																						
	1.3 維持管理																						
	1 維持管理に配慮した設計																						
	2 維持管理用機能の確保																						
2 耐用性・信頼性	2.1 耐震・免震・制震・制振																3.0	0.52	-	-	3.0		
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)																						
	2 免震・制震・制振性能																						
	2.2 部品・部材の耐用年数																						
	1 駆体材料の耐用年数																						
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔																						
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔																						
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔																						
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔																						
	6 主要設備機器の更新必要間隔																						
2.4 信頼性	1 空調・換気設備																3.2	0.19	-	-	-		
	2 給排水・衛生設備																	3.0	0.20	-	-	-	
	3 電気設備																	3.0	0.20	-	-	-	
	4 機械・配管支持方法																	3.0	0.20	-	-	-	
	5 通信・情報設備																	4.0	0.20	-	-	-	
	耐震クラスAとしている																	3.0	0.20	-	-	-	

3 対応性・更新性					4.4	0.48	-	4.4
3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり	階高は3.9m以上としている	5.0	0.31				
2 空間の形状・自由さ		壁長比率は0.1未満としている	5.0	0.60				
3.2 荷重のゆとり		床荷重は15000N/m ² としている	5.0	0.40				
3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性		5.0	0.31				
2 給排水管の更新性			3.4	0.38				
3 電気配線の更新性	1 通信配線の更新性	仕上を痛めることなく、配線の更新、修繕ができる	3.0	0.17				
4 機器機器の更新性	2 通信配線の更新性	仕上を痛めることなく、配線の更新、修繕ができる	3.0	0.17				
5 設備機器の更新性	3 通信配線の更新性		5.0	0.11				
6 バックアップスペースの確保	4 通信配線の更新性		5.0	0.11				
Q3 室外環境(敷地内)			5.0	0.22				
1 生物環境の保全と創出	5 設備機器の更新性		3.0	0.22				2.4
2 まちなみ・景観への配慮	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.22				
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.22				
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.22				2.0
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.22				
LR 建築物の環境負荷低減性			3.0	0.22				
LR1 エネルギー			3.0	0.22				3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.22				3.2
2 自然エネルギー利用			3.0	0.22				
3 設備システムの高効率化			3.0	0.22				4.0
4 効率的運用			3.0	0.22				
集合住宅以外の評価	1.1 節水		3.0	0.22				
4.1 モニタリング	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	エアキャッチウインドウを採用し、換気しやすさに配慮している	4.0	0.28				
4.2 運用管理体制	1 雨水利用システム導入の有無	BELは0.74としている	3.6	0.43				
集合住宅の評価	2 雜排水等利用システム導入の有無		3.0	0.22				3.6
4.1 モニタリング	4.2 運用管理体制		3.0	0.22				2.0
LR2 資源・マテリアル			3.0	0.22				
1 水資源保護			3.0	0.22				3.3
1.1 節水			3.0	0.22				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		節水コマ、節水型便器を使用している	3.4	0.15				3.4
1 雨水利用システム導入の有無			4.0	0.40				
2 雜排水等利用システム導入の有無			3.0	0.60				
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.67				
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.33				
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.67				3.1
2.3 車体材料におけるリサイクル材の使用	② 独自	-	3.0	0.20				
2.4 車体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20				
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.20				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独白	LGS + ボードなど解体時に分別しやすい工法としている	3.0	0.05				
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.0	0.24				
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.24				
3.2 プロン・ハロの回避			3.0	0.24				
1 消火剤			3.0	0.24				
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50				
3 冷媒			3.0	0.50				
LR3 敷地外環境			3.0	0.50				
1 地球温暖化への配慮	①	ライフサイクルCO ₂ 排出量は一般的な建築物と同等である	3.4	0.33				3.1
2 地域環境への配慮			3.4	0.33				
2.1 大気汚染防止			2.9	0.33				
2.2 温熱環境悪化の改善			5.0	0.25				
2.3 地域インフラへの負荷抑制		施設内で燃焼機器を使用していない	2.0	0.50				
1 雨水排水負荷低減	独自		2.7	0.25				
2 污水処理負荷抑制			3.0	0.25				
3 交通負荷抑制			3.0	0.25				
4 廃棄物処理負荷抑制	独白	適切な量の駐輪場、駐車場を計画している	4.0	0.25				
1.0			1.0	0.25				
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33				3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40				
1 騒音	独自		3.0	1.00				
2 振動	独白		-	-				
3 悪臭			-	-				
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40				
1 風害の抑制			3.0	0.70				
2 砂塵の抑制			3.0	-				
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30				
3.3 光害の抑制			3.7	0.20				
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害ガイドラインのうち一部を満たし、屋外広告物は過半を満たす。	4.0	0.70				
2 広告の媒体選択による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30				

重点項目スコアシート
大宝運輸株式会社 東郷町基地

実施設計段階

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.4
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.4	0.10	
② 資源の有効活用				3.4
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	4.4	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.1	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.17	外構緑化:20.3%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化
重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{\text{（評価点} \times \text{全体に対する重み})}{\text{重みの総和}}$
重点項目スコア=

④地域材の活用
重点項目スコア=評価ポイントの合計 + 1

■ 環境設計の配慮事項

■建物名称 大宝運輸株式会社 東郷町

計画上の配慮事項	
総合	建築物の環境品質を高めるのと同時に、周辺に対する環境負荷を抑えるよう計画している。
Q1 室内環境	
Q2 サービス性能	①内装は更新間隔が長くなるよう配慮している。 ②設備機器、配管の支持は耐震等級Aとしている。 ③設備更新時に内装材を傷めずに更新できる工夫をしている。
Q3 室外環境(敷地内)	①外構緑化指数=20.30%、空地率=59.7% ②敷地外周部には緑地を計画している。
LR1 エネルギー	①BEI=0.74
LR2 資源・マテリアル	①自動水栓のほか、節水型便器を使用している。 ②LGS+ボードなど解体時に分別しやすい工法としている。 ③有害物質を含まない材料を4種類使用している。
LR3 敷地外環境	①ライフサイクルCO2排出率=85% ②適切な量の駐輪台数と駐車台数を確保。荷捌き用スペースを確保。 ③光害ガイドラインのうち一部を満たし、屋外広告物は過半を満たす。
その他	なし